

(仮称) 沼津市消防本部・北消防署庁舎整備事業

民間事業者選定結果

平成 21 年 3 月 26 日

沼 津 市

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成 11 年法律第 117 号。）第 7 条第 1 項の規定により、「（仮称）沼津市消防本部・北消防署庁舎整備事業」を実施する民間事業者を選定したので、同法第 8 条の規定による客観的な評価の結果を、次のとおり公表する。

平成 21 年 3 月 26 日

沼津市長 栗原裕康

目 次

1	事業者選定の経緯等	1
(1)	事業者選定の経緯	1
(2)	事業者選定方式	1
(3)	事業者選定方法及び手順	1
2	事業者選定の体制等	3
(1)	事業者選定の体制	3
(2)	審査委員会	3
3	審査結果等	3
(1)	入札参加資格審査	3
(2)	基礎審査	4
(3)	提案審査	4
(4)	価格審査	5
(5)	総合評価	5
(6)	落札者の決定	5
(7)	市の財政負担の削減効果	5
	付図 (仮称) 沼津市消防本部・北消防署庁舎 イメージ図	6

1 事業者選定の経緯等

(1) 事業者選定の経緯

事業者選定までの主な経緯は、以下のとおりである。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・ 実施方針の公表 | 平成 20 年 8 月 5 日 |
| ・ 特定事業の選定公表 | 平成 20 年 9 月 11 日 |
| ・ 入札公告 | 平成 20 年 10 月 17 日 |
| ・ 入札説明会 | 平成 20 年 11 月 7 日 |
| ・ 入札参加資格審査書類の受付締切 | 平成 20 年 12 月 12 日 |
| ・ 入札参加資格審査結果通知、公表 | 平成 20 年 12 月 19 日 |
| ・ 入札書類の受付締切・開札 | 平成 21 年 1 月 30 日 |
| ・ 落札者の決定・通知、公表 | 平成 21 年 3 月 26 日 |

(2) 事業者選定方式

本事業を実施する事業者は、専門的な知識やノウハウ（設計技術力、建設技術力、維持管理能力、事業経営能力、資金調達能力等）を有することが必要となる。このため、落札者の決定にあたっては、価格及び本市の要求するサービス水準との適合性、資金調達の確実性、リスク負担能力等の各面から総合的に評価し落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用した。

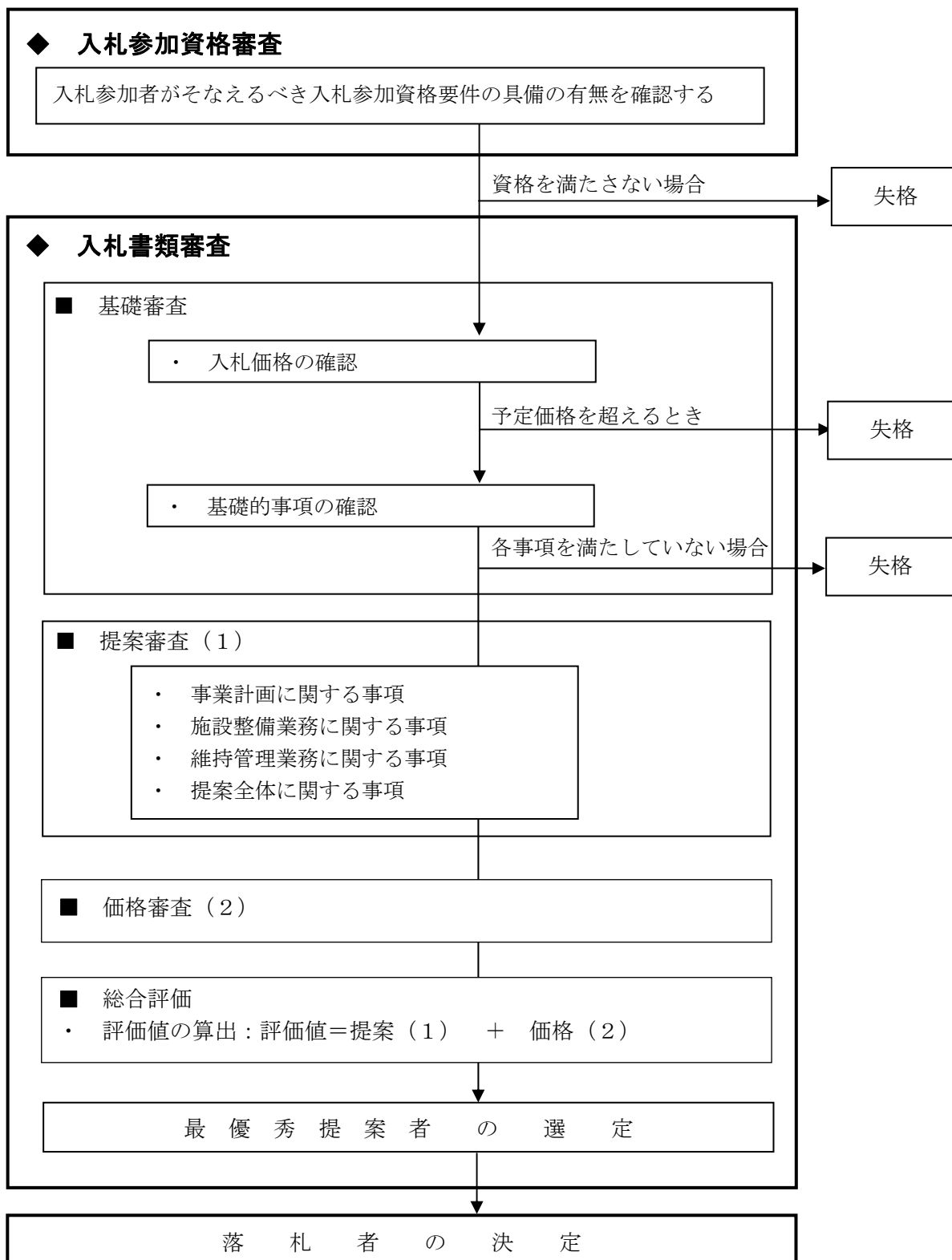
(3) 事業者選定方法及び手順

事業者の選定は、事業者の資格の有無を判断する「入札参加資格審査」と、事業者の提案内容を審査する「入札書類審査（基礎審査、提案審査、価格審査、）」の二段階に分けて実施した。

入札参加資格審査では、入札参加者の参加資格及び本事業の実施体制について本市が審査を行い、入札書類の提出を求める入札参加者を選定した。

入札書類審査においては、基礎審査、本事業の各業務に関する具体的な提案内容審査、入札価格の審査を行い、最優秀提案者を選定した。

審査の流れについては、以下のとおりである。



2 事業者選定の体制等

(1) 事業者選定の体制

総合評価一般競争入札を実施するにあたり、専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等で構成する審査委員会を設置した。

審査委員会は、入札参加者から提出された入札提出書類の審査を行い、最優秀提案者を選定し、本市は審査委員会からの報告を受けて、落札者を決定した。

(2) 審査委員会

	氏名	所属
委員長	小林 重 敬	武蔵工業大学
副委員長	寒 竹 伸 一	静岡文化芸術大学大学院
委員	重 川 希志依	富士常葉大学
委員	間 野 吉 幸	間野税理士事務所
委員	土 屋 一 成	沼津市建設部
委員	古 屋 達 男	沼津市消防本部

3 審査結果等

(1) 入札参加資格審査

応募グループは、以下の1グループであり、グループを構成する企業が入札説明書に示す参加者の要件を満たしていることを審査し、この結果、すべての企業が参加資格を有していることを確認した。

グループ名	構成企業名
株式会社加藤工務店グループ	代表企業：(株)加藤工務店 構成企業：大岡建設工業(株) (株)佐藤建設 (株)建設技術研究所静岡事務所 協力企業：(株)類設計事務所東京事務所 日本ハウズイング(株)静岡支店

(2) 基礎審査

提案書に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしていることの審査を行った。

ア 入札価格の確認

本市は、入札参加者が提出する入札関連書類を開札し、様式集（入札書類審査）様式 1-4「入札書」に記載された入札価格が、予定価格以下であることを確認した。

イ 基礎的事項の確認

提案書等に記載された内容について、要求水準書に示す要件を全て満たしていることを確認した。なお、要件を満たしていることの確認については、様式集（入札書類審査）様式 1-3「基礎審査項目チェックシート」にて確認を行った。

(3) 提案審査

基礎審査で適格とみなした提案について、審査委員会において、以下に示す各審査項目で得点化基準に応じて得点を付与し提案審査を行った。

【審査項目】

審査項目（大項目別）	配点
事業計画に関する事項	60 点
施設整備業務に関する事項	420 点
維持管理業務に関する事項	160 点
提案全体に関する事項	60 点
合計	700 点

※ 「特段に将来あるべき消防行政の姿他の提案」があった場合は、上記とは別に最大 50 点の加点

【得点化基準】

評価	評価の意味合い	得点化方法※
A	当該評価項目において特に秀でて優れている	配点×1.0
B	当該評価項目において秀でて優れている	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.5

※ 小数点以下第一位を四捨五入

※ 「特段に将来あるべき消防行政の姿他の提案」についても上記と同様に 3 段階評価

(4) 価格審査

入札価格について、以下の計算式により評価し価格点として得点を付与するものとし、基準配点は300点とした。価格点の有効数字は、小数点以下第一位を四捨五入した値とした。なお、予定価格は、1,958,937千円（地方消費税及び地方消費税相当額を除く。）とした。

$$\text{価格点} = \frac{\text{最低提案価格}}{\text{評価対象の提案価格}} \times 300 \text{ 点}$$

(5) 総合評価

提案点と価格点の合計（総合評価値）が最も高い入札参加者を最優秀提案者として選定した。

	配 点	株式会社加藤工務店グループ
提案点	700 点	395 点
価格点	300 点	300 点
総合評価値	1,000 点	695 点

(6) 落札者の決定

審査委員会は、入札参加者から提出された入札書類の審査を行い、最優秀提案者を選定し、本市は、審査委員会からの報告を受けて、株式会社加藤工務店グループを落札者として決定した。

(7) 市の財政負担の削減効果

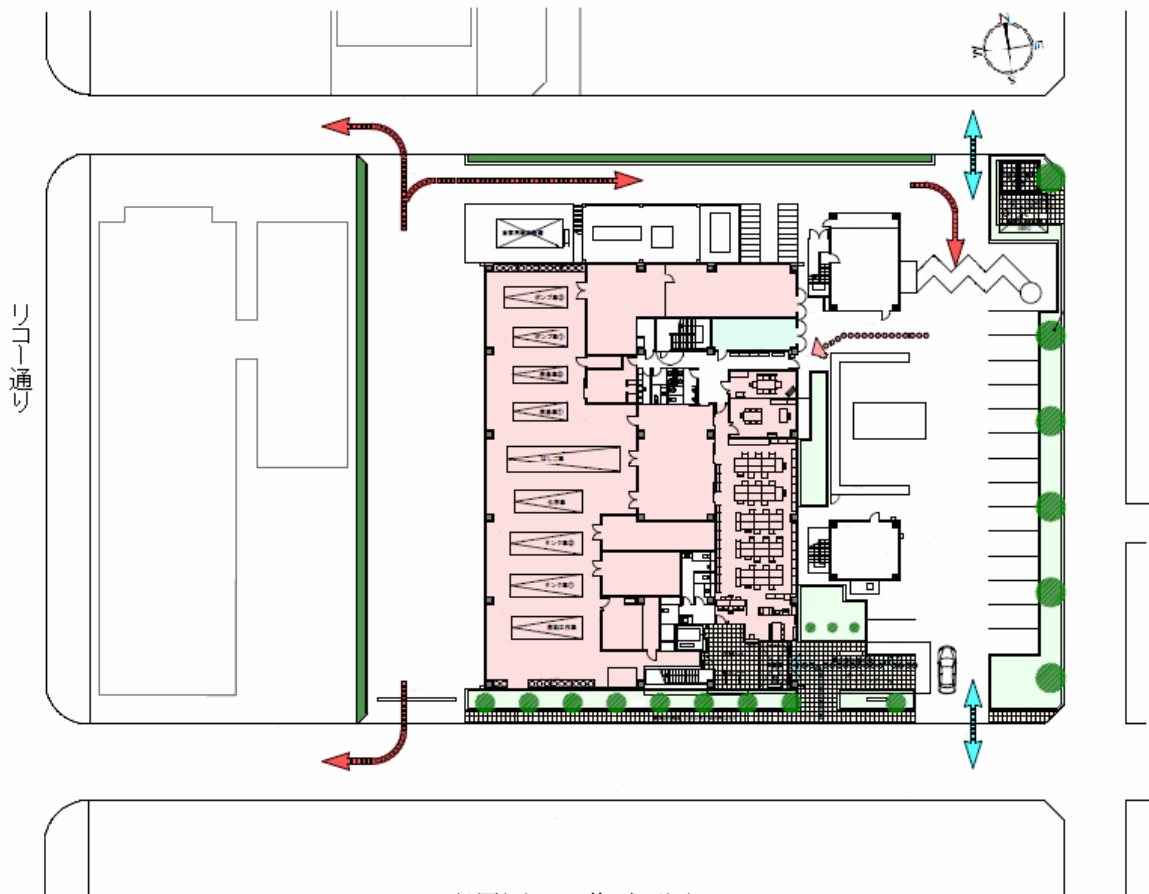
落札者の入札価格に基づき、本事業をPFI事業として実施する場合の市の財政負担額を算定した。その結果、市が直接事業を実施する場合と比較して、現在価値換算で約9.7%削減されることとなった。

	市が直接実施する場合	PFI事業として実施する場合
財政負担額（現在価値）	1,878 百万円	1,695 百万
指 数	100	90.3

(仮称) 沼津市消防本部・北消防署庁舎 イメージ図



透視図（南東側から）



配置図・1階平面図

※ 本イメージ図は、入札時に提案されたもので、今後、行われる実施設計時に変更になることがあります。